

JHF 理事会議事録

日 時： 2020年12月4日(金) 14:00~16:30

場 所： JHF事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 内田孝也 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 内田孝也

Zoom) 市川 孝 大沢 豊 小林秀彰 殿塚裕紀 安田英二郎

【監事】 Zoom) 大森健一

欠席【監事】 岩村浩秀

(出席理事7名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

大沢理事：ハンググライディング日本選手権、ハンググライディング・クラスV日本選手権を開催しクラスVは成立した。

芦川理事：霊石山事故の件は10月23日に東京海上日動火災の対応、当事者には安全性委員長に閲覧対応をしてもらった。

議長（内田会長）：JAAの航空スポーツ室長と面談をした。FAI対応で各団体のデレゲートの組織化をする。PGアキュラシー日本選手権に29日行ってきた。

小林副会長：補助動力委員会でMPG教員検定を進める調整をしている

4. 審議事項

審議事項4-1 会費値上げに伴う割引について

議長（内田会長）：総会で学生の負担が大き過ぎるので負担軽減の意見が出て、理事会メールである程度意見調整を進めてきたが、資料で提案1・2にした、改めて意見をお願いしたい。

市川理事：定款では会費は総会決議である。値引きで一部の会員だけ安くすることは定款にない。総会で決めることなので理事会で決める案件ではない。

議長（内田会長）：会費変更は総会決議だが、東京都連が言っている値上げの最初の衝撃緩和であれば初年度か最初の3年だけで軽減とし、一部償還であれば理事会でよいと思う。

小林副会長：学生への援助を行うことは理事会決議で可能。

市川理事：予算の執行は理事会なので、学生連盟への補助金増額は定款上には問題ない。

大森監事：質問された、会費金額は総会で決めないといけない。

議長（内田会長）：値上げについて9月総会で確定をしたが、理事会で衝撃緩和措置を取るようになられていることが宿題である。

殿塚理事：衝撃緩和措置よりも若者への減額をリクエストされていた。

議長（内田会長）：それは都連の提案文を読み直して欲しい。

市川理事：規約上一部値下げは無理です。東京都連が言っていた若い方々が参加出来る組織にしていくことは将来的に考えて行った方がよいと思う。定款上、総会の了解を取るためには学生は値段を安くした学生フライヤー会費制度を作る等を検討していった方がよい。これは定款変更が必要になる。現状では臨時総会を開くのは難しい。

議長（内田会長）：東京都連からの意見は私の考えではない。個人的には若いからフライヤー会費を軽減することで敷居を低くするのは違うと思う。学生は営利スクールでレッスン料を払う、自分の機材を買っている。フライヤー会費2千円の値上げと比べたら軽減はおかしい。

メールで安田副会長から会費値上げに伴った割引制は取らない、公平さを犠牲にして会費減免は疑問という提案があり賛成意見が多かった。改めて割引制は導入しないということで賛否を取ります。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】

賛成： 芦川、市川、大沢、小林、殿塚、安田

会費値上げに伴う割引制は導入しないことで可決された。

議長（内田会長）：総会では若年、高齢者に対して値上げによる衝撃緩和をするべきという意見が出た。事務局のシステム変更や手間を掛けないため理事会では学生連盟へ補助金増額案が出た。会費増での登録者減少対応について話し合っ欲しい。

芦川理事：学生、若年層への割引については学生連盟に補助金を増やす対応でどうか意見を出した。必要かどうかはあるが個人に対してではなく学生連盟の活動を活発化してもらった方がよい。

小林副会長：学連の活動報告が地区別で差がある。地方の学生に援助したい。企画コンペとか。

議長（内田会長）：学生連盟は地区連盟が集まり総会を開催している独立した組織なのでJHFから注文を出すのは難しい。

小林副会長：1年間1千円×人数分を渡して効果が見られるか。

議長（内田会長）：ここ5年ほど成果を上げている都市部のサークルでの新入生歓迎などの援助に、大人の知恵を出した方がよい。

殿塚理事：今回の論点は学生に対しての何らかの措置をして欲しいという総会の要望について理事会がどう答えるか。補助しないという回答をするか、学生に対応するかで、何らかの対応をした方がよい。

市川理事：総会にかけないで値引きは出来ない、提案が出たところへは回答をする。どこかを削らないとお金は出ません。将来のために重点を移すのであればそう考えてもよいと感じる。

芦川理事：学連に対しての補助金は現行どおり年間30万円。今後も案件毎に理事会で審議する。

殿塚理事：賛成です。具体的に金額は決めずに、企画や要望に対しては支援を手厚くすることが妥当かと思う。

議長（内田会長）：学生連盟の補助は従来と同じ固定30万円とし企画毎に補助を出す。全国から活発に企画を出して貰い補助を出す。それを正会員へも伝えることで賛否を取ります。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】

賛成： 芦川、市川、大沢、小林、殿塚、安田

学生連盟への補助については、従来通りではあるが、企画等補助申請が出れば理事会で審議し補助をしていくことで可決された。

審議事項4-2 2021ハンググライディング日本選手権開催地承認について

大沢理事：ハンググライディング日本選手権を2月20日～紀の川で開催するので承認をお願いしたい。今年度は本来3月に予定していたがコロナの影響で10月に延期され同じ年度で2回開催になった。今年予算額と同じ63万円で予算を組みたい。

議長（内田会長）：2021年度の日本選手権なので2021年度予算であるが、同じ年度で2回日本選手権を開催の場合は前年度決算に計上して来た。補助金は固定して来たが、今年予算から競技関係費用は一律10%削減した。2021年度予算を作る時は正常化するか、来年度の競技会予算は不確定ではあるが今年度と同額63万円を支出する扱いとしたい。

2021年度のハンググライディング日本選手権開催地について承認の挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】

賛成： 芦川、市川、大沢、小林、殿塚、安田

2021年度ハンググライディング日本選手権を2月20日から紀の川で開催することが可決された。

審議事項4-3 スポーツナビへの情報掲載について

議長（内田会長）：こちらは既にJHFレポートにも掲載して原稿募集している。その後に理事会で決議をすることになるがどうか。

芦川理事：既に理事会で承認されたと思う。記事は募集するが、最終的な内容は事務局、担当理事が承認することになったと認識している。

大沢理事：これは費用が掛からないのですか？

殿塚理事：掛かりません。

議長（内田会長）：決議は取られてなかったもので、理事会の意思決定として賛否を取ります。

スポーツナビへのJHFとして情報掲載に賛成の方は挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】

賛成： 芦川、市川、大沢、小林、殿塚、安田

Yahoo! JAPANが運営するスポーツ情報サイト「スポーツナビ」にハングパラ振興委員会が原稿を募集、精査しJHFとして投稿することが可決された。

審議事項4-4 技能証規程分割案について

議長（内田会長）：制度委員会から提出されていた技能証規程分割案について、メールで皆さん全員が内容を確認したということでした。問題点についてはどうするか。

小林副会長：委員会は理事会承認後に修正をしようとしています。

議長（内田会長）：総会提出では新旧対照表まできちんと作るが、ここにはない。問題点、疑問点について委員会に戻し清書した上で公表することを前提で決議を取ります。

採決の結果、【賛成5 反対1 棄権0】

賛成： 市川、大沢、小林、殿塚、安田

反対： 芦川（清書したものを理事会に提出すれば承認する）

技能証規程の7分割（総則編、総則別紙編、総則略号編、HG編、

PG編、MPG編、レスキュー編) する内容について可決された。

5. 協議事項

協議5-1 アジア競技大会について

議長（内田会長）：アジア競技大会はオリンピックマターで2年前に男子金メダル、女子銀メダルを獲得しよい影響が出た大会だった。2026年は愛知で行われる予定だが競技が確定していないようだ。愛知県連からスカイスポーツ競技を入れてもらえるか働きかけをしたいと連絡があった。競技委員長にも伝えてある。お金の問題もあるのでこのような話が出たことを理事は認識しておいてください。

6. 報告事項について 下記が報告された。

6-1 HG競技委員会公認手続きについて

大沢理事より公認時の指針を柔軟に変更することで報告があった。（HG競技委員会サイト参照）

6-2 予算実績表

6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

芦川雄一郎 印

市川 孝 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

小林秀彰 印

殿塚裕紀 印

安田英二郎 印

監事

大森健一 印